



特定非営利活動法人

チャレンジドスポーツあきた

会報誌

令和5年4月発行 〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切 24-2 遊学舎内
tel : 070-4394-3886 mail : akita.challenged.sport@gmail.com

令和5年度、さらに前進を！



代表理事 齋藤 孝

障がいのある人たちのスポーツに親しむ機会の提供や、スポーツを通じた生きがいづくり、社会参加などを目指して立ち上げた当法人の令和4年度の事業が無事終了しました。

長引くコロナ禍における事業の展開には多少の困難もありましたが、各トップチームは3年ぶりに対外試合に臨み、好成績を挙げました。中でも、男子バスケットチームは昨年10月開催のいちご一会とちぎ大会に出場し、第3位という成績を取めました。また、エンジョイクラブ事業もスタートしました。当法人の事業が多くの人たちのニーズに応えられるよう、新年度はさらに前進してまいりたいと存じます。

役員や会員、スポンサー並びに賛助会員の皆さまには、温かいご支援をいただきました。ここに謝意を表するとともに、令和5年度も引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年度事業報告〔トップチーム事業〕

男子バスケットボール

第22回全国障害者スポーツ大会	北海道・東北ブロック予選会【優勝】	決勝	秋田県 87 - 62 札幌市
第22回全国障害者スポーツ大会	【3位】	1回戦	秋田県 87 - 62 長野県
		準決勝	秋田県 57 - 81 東京都
		3位決定戦	秋田県 80 - 57 大阪市



僕は3年ぶりに大会が開催されたことを心からうれしく思っています。チームとしては愛媛大会以来5年ぶりの参加となりました。3試合行い、良かった点は、一人一人が自分の役割をこなしてプレーしていたところです。反省点は、自分たちのプレーが上

手くいかず流れが悪い時間が続いてしまったことです。自分たちで流れをもってこれるように改善していきたいと思います。次の大会では、優勝を目標に日々の練習に取り組みたいです。

(高杉 龍)

女子バスケットボール

第22回全国障害者スポーツ大会	北海道・東北ブロック予選会【優勝】	決勝	秋田県 55 - 50 札幌市
第22回全国障害者スポーツ大会		1回戦	秋田県 30 - 91 愛知県
		交流戦	秋田県 34 - 27 山口県 秋田県 24 - 19 堺市



久しぶりのブロック予選でしたが、楽しくプレーすることができました。しかし、チームの連携プレーやシュートの精度の低さが課題だと感じました。個人としては、積極的に点数を取ることや冷静にプレーすることができませんでした。

栃木大会では、ガードとしてゲームコントロールや攻撃の組み立てをしっかりしていきたいと考えて臨みました。練習してきたマンツーマンディフェンスのボールのもらい方、スクリーンプレー

の動きを、自信を持ってできました。相手の気迫に押される場面が多く、疲れてくると体力が落ちてくる課題が残りました。

今年のブロック予選では、自信を持ってプレーできるように、また、積極的に点を取れるように頑張りたいです。優勝して去年の悔しさを鹿児島大会で晴らせるように、目の前の試合に集中して諦めずにプレーしたいです。

(木村里奈)

第22回全国障害者スポーツ大会 北海道・東北ブロック予選会【3位】

1回戦 秋田県 14 - 0 北海道 準決勝 秋田県 0 - 4 岩手県 3位決定戦 秋田県 5 - 0 仙台市

東北FIDサッカーリーグ戦【2位】

第1節 秋田県 4 - 1 宮城県 第3節 秋田県 0 - 1 岩手県



3年ぶりの大会で、チームは緊張感をもち、勝つという気持ちも相手チームより負けていませんでした。結果は全国にいける一歩

手前で敗れましたが、悔しさを武器に今年は全国に行けるようにチーム一丸となって頑張ります。(小林清愛)

◎トップチームの一年を振り返って



男子バスケットボール監督 北林拓也

3年ぶりの北海道・東北ブロック大会、5年ぶりの全国大会、同じ志をもった県外の選手や指導者の方々と戦い、交流することの楽しさ、うれしさを改めて感じる一年となりました。チームはこの数年でメンバーの入れ替わりが多くあり、若い選手が増えました。大会では、勢いに乗ると十分に力を発揮できても経験の少なさから悪い流れを切ることが難しく、苦しい時間が続いてしまったことが大きな課題となりました。技術だけでなく、考え方やフィジカル、メンタルなどをバランスよく育て、全国優勝を目標に今後もチーム一丸となって頑張ります。今後も応援やサポートをよろしくお願いします。



女子バスケットボール監督 今井理

今年度は3年ぶりに開催されたブロック大会決勝戦で土壇場の逆転で勝利し、全国大会出場を果たすというとても嬉しい年となりました。しかし、いざ栃木大会へ参加すると、コロナ禍でのプランクは大きく、なかなか自分たちのバスケットボールをさせてもらえませんでした。また、驚くべきことに、他県チームがこの環境の中でも確実に力をつけて、進化を続けていました。試合では相手チームの厳しいマンツーマンディフェンスに対応できず、秋田県が取り残されているという感覚を選手、スタッフともに現実として感じる大会となりました。

この大会の経験から、現在、次年度に向けて練習のポイントに変化をつけながら取り組んでいます。この貴重な機会となったコロナ禍での大会参加に当たって、ご理解、ご協力いただいた保護者や選手の所属先の皆様、そして事務局の皆様には感謝いたします。

ブロック大会まで残り数ヶ月となりました。選手スタッフ一丸となって前に進んでおりますので、今後ともご支援よろしく願いいたします。



サッカー監督 石川雄太

「サッカーができるよこび」を感じられる1年となりました。ブロック予選やリーグ戦が再開されましたが試合動やメンバーが揃わないなど苦しい1年となりましたが、選手が試合に臨む姿やプレーから大会に参加できる喜びや楽しさを感じられました。結果は伴いませんでしたが、チームの総合力アップにつながった1年だと感じています。今シーズン初め3月のSFIDA-CUPでは、チームとして取り組んできたことを試合で生かすこともでき、優勝と良いスタートをきることができました。6月からは、ブロック予選、リーグ戦が始まります。1つ1つ勝利を目指して頑張りますので、応援やサポートよろしく願いいたします。

アランマーレ秋田との取り組み



ホームゲーム前座試合(男子)
令和4年11月5日(土)

バスケットボールクリニック 令和4年8月27日(土)

クラージュ秋田 56 - 51 秋田 NH U-15

プロの選手達に直接教えてもらったことは、すごくよい体験になりました。一人一人に対してピボットの足の細かい動きを教えてくださいました。試合で生かせるように頑張ります。短い時間でしたが、すごく楽しい時間でもありました。とてもよい経験ができました。ありがとうございました。(浅利玖美)



僕はチームに加入してから間もないので、この試合が選手として初めての試合でした。多くの方々に観戦していただき、とても緊張しましたが、自分のプレーをしっかりとできたことがうれしかったです。この試合を実現してくださった関係者の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。これからもたくさんの経験を積み重ね、頑張っていきたいと思います。今後とも応援よろしくお願いします。(佐藤侍志)

令和4年度事業報告(エンジョイクラブ事業)

第1回エンジョイバスケット

- 令和4年10月23日(日) 9時30分~16時
- 秋田ノーザンスクエア体育館

第2回エンジョイバスケット

- 令和5年3月26日(日) 9時30分~12時
- 秋田ノーザンスクエア体育館



参加者から一言感想

初めて参加しましたが、楽しかったし、みんなとバスケットができてよかったです。(社会人25歳)
体育館が広くてシュート練習がやりやすく、楽しかったです。(社会人21歳)
違う学校の人たちとチームを組んで本気でゲームができて楽しかったです。(特別支援学校生徒15歳)

第1回エンジョイサッカー(フットサル)

- 令和5年3月19日(日) 10時30分~16時
- みんなの体育館やばせ〔クリニック〕、ソユースタジアム〔ブラウブリッツ秋田ホームゲーム観戦〕



参加者から一言感想

久しぶりのサッカーができてとても楽しかったです。みんなと楽しめたのが思い出に残りました。(社会人20歳)
エンジョイクラブに参加したのは初めてで「小学校以来サッカーやるけど大丈夫かな」と思いましたが、とても楽しく、やりがいを感じることができました。ありがとうございました。(特別支援学校生徒17歳)



この事業は、赤い羽根共同募金の助成を受けて実施しています。

令和5年度 新規事業の紹介



☆ニュースポーツ「モルック」

モルックは、モルックという木の棒を下から投げて、スキttlと呼ばれる木のピンを倒して点数を競うゲームです。対戦相手より先に50点ピッタリになったチームの勝ちです。



附属特別支援学校での活動の様子

【エンジョイモルック】 通年・各特別支援学校 各校の希望要請に応じて実施します。

【第1回クラージュカップ】 フットサル大会 令和5年12月16日（土） 雄和体育館

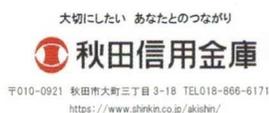
大会理念

1. 障がいのある方々にサッカーの試合を経験する機会を提供すると共に、交流を深める場とする。
2. 県内の障がいのある方々のサッカー競技の普及を図るとともに、競技レベルの向上に資する。
3. 大会の開催を通じ、障がい者スポーツへの理解啓発を図る。

スポンサー・賛助会員の皆様（令和5年3月31日現在）

ご支援ありがとうございました。

☆ブロンズスポンサー



●秋田信用金庫様



●秋田いすゞ自動車株式会社様

☆ホームページスポンサー

- 株式会社八森運輸様 ●税理士法人 M.U.G.E.N. 様
- ホブシー有限会社様 ●株式会社向学舎グループ様
- 株式会社トヨタカローラ秋田 秋田南店様
- UD トラックス株式会社青森・秋田支社様
- 富士フィルムBI 秋田株式会社様

☆賛助会員

- いなみ小児科ファミリークリニック様 ●竹嶋整骨院様 ●UD トラックス株式会社様 ●山二建設資材株式会社様
- 株式会社ツバサ様 ●県立秋田きらり支援学校PTA様 ●秋田県特別支援学校PTA連合会様
- 社会福祉法人秋田いなほ福祉会様 ●ネットヨタ秋田株式会社様 ●名鉄観光サービス(株)秋田支店様
- 県立能代支援学校職員様 ●県立大曲支援学校職員様 ●県立秋田きらり支援学校職員様 ●株式会社ケツアール職員様
- 井川 涉 様 ●木村 大貴 様 ●森元 睦 様 ●伊藤真由美 様 ●吉田みぎわ 様
- 佐藤 伸 様 ●加藤 幹子 様 ●小野寺 孝 様 ●鈴木 章弘 様 ●湊 優香 様
- 下田 亮 様 ●下田 朋子 様 ●磯崎富美子 様

編集後記

出口の見えないコロナ禍に様々な制約を受け続けてスタートした令和4年度でした。「少人数の参加でも」と再開したトップチームの練習会、手探りの感染症対策を行いながら参加した県外での大会参加。改めて振り返るとチームスタッフの熱意と、選手の「スポーツが好きだ」という思いで乗り切った1年でした。そんな私たちの活動を支えてくださった多くの皆様、ご支援本当にありがとうございました。

社会生活がコロナ禍以前に完全に戻らないとしても、「生涯スポーツへの支援を通して共生社会の充実に寄与したい」という私たちの目的を達成する環境は整いつつあります。様々なスポーツイベントに歓声も戻ってきました。令和5年度、私どもも「スポーツの力」を信じて、進んで参ります。今後ともよろしくご支援ください。

理事兼事務局長 磯崎 清和



※秋田テレビ「スポーツの力」（火曜午後10時54分～）で令和4年4月26日に放送されました。AKT公式YouTubeチャンネルでご覧いただけます。

事務局

住所：〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切 24-2 遊学舎内（令和4年4月～）

tel：070-4394-3886

mail：akita.challenged.sport@gmail.com

担当：理事兼事務局長 磯崎 清和

☆ 最新情報は、ホームページ、ツイッター、インスタグラム、フェイスブックで随時更新中です。



CSA ホームページ